



シングルレバー混合栓 シングルレバー引出し混合栓

施工説明書

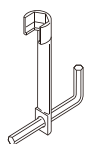
施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

施工の前に

準備するもの



立カラン締め

- *左記に加えて、
 - モンキーレンチ
 - プラスドライバー(*寒冷地用の場合)
 - マイナスドライバー(*引棒つきの場合)をご準備ください。
- *その他、施工に必要な配管部材等は別途ご準備ください。

施工方法

数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

水栓のタイプによって施工方法が異なります。

【引出し水栓】

「1. ハンドスプレーを取付けます。」
から順に施工します。



吐水口を引出せる水栓

【引出し水栓以外】

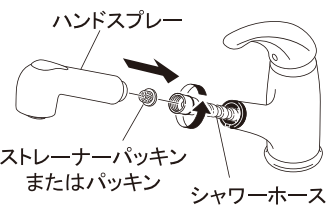
「2. 水栓本体を取付けます。」
「3. 止水栓と接続します。」
「4. 連結金具を接続します。」の順に施工します。

必ず実行 ステンレスカウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板等)を取付けてください。

1. (引出し水栓の場合)ハンドスプレーを取付けます。

* ハンドスプレーが水栓本体にセットされている製品は、この作業は不要です。

ハンドスプレーをシャワーホースに取付けます。

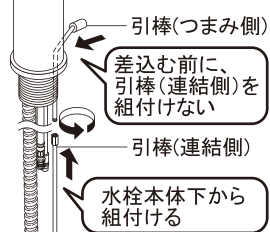


ストレーナーパッキン
またはパッキン

- ハンドスプレーをシャワーホースに接続および増締めする際は、絶対に工具を使用しないでください。また強く締付けないでください。強く締付けるとハンドスプレーが損傷し、漏水事故につながる恐れがあります。接続および増締めは手締めで行ってください。
- 吐水口を回転させる際は、ハンドスプレーに無理な衝撃や荷重を掛けないでください。ハンドスプレーの根元に無理な荷重が掛かり損傷し、漏水事故につながる恐れがあります。

2. 水栓本体を取付けます。

引棒付きの場合



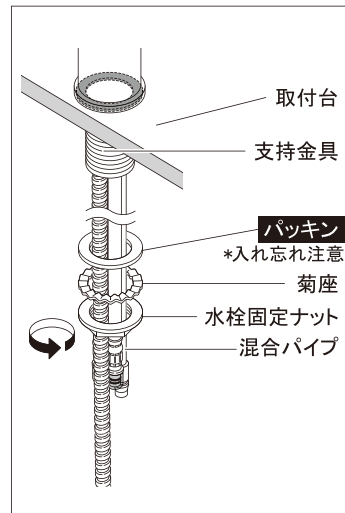
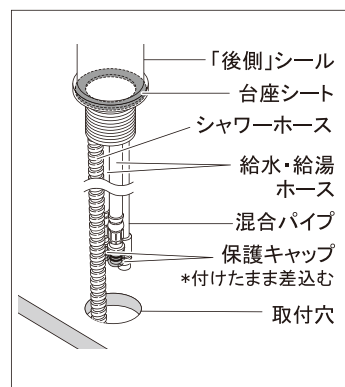
引棒(つまみ側)
差込む前に、
引棒(連結側)を
組付け
引棒(連結側)
水栓本体下から
組付ける

①引棒付きの場合は、先に引棒(つまみ側)を水栓本体に差込みます。次に、引棒(連結側)を水栓本体下から組付けます。
*水栓を取付台に設置する前に作業してください。
*品番によっては、引棒(つまみ側)があらかじめ組付けられている製品もあります。

必ず実行 引棒を差込む際は、差込前に必ず引棒(つまみ側)と引棒(連結側)に分解し、正しく差込んでください。故障・作動不良の原因となります。

施工方法(つづき)

2. 水栓本体を取付けます。(つづき)

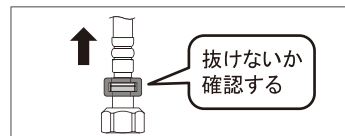
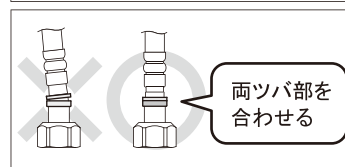
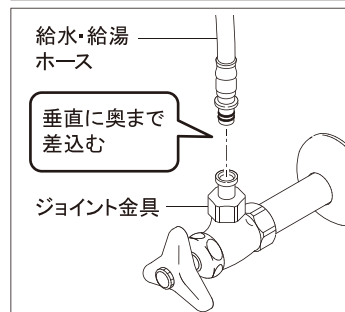
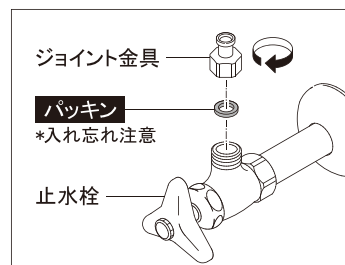


- ②水栓本体を設置する取付穴の穴径を確認し、穴周囲が汚れていないか確認します。
- ③支持金具から水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
*部品が別袋に入っている場合は、この作業は必要ありません。
- ④水栓本体底部に台座シートが付いていることを確認し、水栓本体が正面を向くように取付穴に差込みます。
*台座シートに剥離紙が付いている場合は剥がしてから取付穴に差込んでください。
- *給水・給湯ホースの保護キャップはジョイント金具に接続するまで外さないでください。
- *「後側」シールが貼付けられている場合は、そちら側を真後ろにします。
- *水栓取付位置がシンク・洗面手洗器中央でない場合は、吐水口位置・回転角度に合わせて位置を決めてください。

⑤支持金具にパッキン・菊座を順に通し、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けて、水栓本体を確実に固定します。

- 必ず実行 水栓本体を固定した後に、位置を調節しないでください。無理な力が掛かり、器具の破損やゆるみの原因となります。
- 水栓本体が取付穴の中心にくるように固定してください。偏って取付けると、確実に固定されない恐れがあります。
- 禁止 水栓本体を固定する際は、レバーハンドル部を持って締付けしないでください。カートリッジに無理な力が掛かり破損する恐れがあります。
- 注意 パッキンの入れ忘れにご注意ください。漏水の原因となります。
- 水栓本体が正しく固定されていないと、ガタつきや取付台下のキャビネット・流し台内への漏水、部品損傷の原因となりますのでご注意ください。

3. 止水栓と接続します。



①ジョイント金具にパッキンをはめ込み、止水栓にしっかりと締付けます。

注意 パッキンの入れ忘れにご注意ください。漏水の原因となります。

②給水・給湯ホース先端の保護キャップを外し、Oリングに傷がないか確認します。

③給水・給湯ホースをジョイント金具へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

- 必ず実行 給水・給湯ホースをジョイント金具に差込む際は、Oリングを傷付けないように、垂直にゆっくりと差込んでください。
- 注意 ホースの「湯(赤)・水(青)」シールを確認し、逆配管にならないように接続してください。

④給水・給湯ホースがジョイント金具に正しく差込まれているか確認します。

⑤クリップの溝に、両ツバ部(給水・給湯ホース側とジョイント金具側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

⑥キャップをクリップに取付けます。

必ず実行 クリップで手を切る恐れがありますので、固定後は必ずキャップを取付けてください。

⑦給水・給湯ホースを上を引き、確実に接続されているか確認します。

注意 取付けが確実でないと漏水する恐れがありますのでご注意ください。

3. 止水栓と接続します。(つづき)

！

必ず実行

●クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水・給湯ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているかご確認ください。

正しい取付状態

ななめになっている

両ツバ部がはまっていない

曲げ半径 60ミリ以上

禁止

給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。ホースに傷が付き、強度が失われたり、ホースがつぶれて通水経路が狭まり十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。

！

注意

給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

4. (引棒付きの場合)引棒とキック棒を接続します。

引棒用連結金具部

引棒

固定ビスB

回転部側

キック棒

固定部側

固定ビスA

ポップアップ排水金具の排水栓を操作するために、排水金具のキック棒と水栓の引棒を接続します。排水金具のキック棒を下げた状態で、引棒用連結金具の固定ビスAを締付けて、引棒に固定します。

- *スムーズに作動しない場合は引棒用連結金具の固定位置で微調整してください。
- *調整後は、固定ビスA・Bをしっかりと締付けてください。

5. (引出し水栓の場合)シャワーホースを取付けます。

寒冷地用の場合

水抜弁付きワンタッチソケット

パッキン

*入れ忘れ注意

シャワーホース

①寒冷地用の場合は、先にシャワーホースと水抜弁付きワンタッチソケットをつなぎます。

*一般地用の場合は、シャワーホースとワンタッチソケットがあらかじめ組付けられています。

！

注意

パッキンの入れ忘れにご注意ください。漏水の原因となります。

垂直に差込む

混合パイプ

銅管プラグ

②

ワンタッチソケット

シャワーホース

スライダー

寒冷地仕様

②ワンタッチソケットのスライダーを下げている状態で、銅管プラグに音がある(スライダーが自動的に上がる)まで垂直に差込みます。

*ワンタッチソケットを外すときは、スライダーを下げながら下方に引っ張ります。

③ワンタッチソケットを下方に引き、確実に接続されているか確認します。

スムーズに出し入れできるか

底面より見た図

シャワーホース

シャワーホースの通る空間

給水ホース

混合パイプ

給湯ホース

！

必ず実行

ワンタッチソケットの接続が十分でないと漏水する恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているかご確認ください。

スライダーが「カチッ」と上がるとロック

施工方法(つづき)

6. (引出し水栓の場合)おもりを取付けます。

①シャワーホース用ガイドが自由に動くか確認します。

*シャワーホース用ガイドは、ハンドスプレーを引出したときに、おもりが給水・給湯ホース、混合パイプに干渉するのを防ぐための部品です。

*シャワーホース用ガイドがテープで仮止めされている場合は外してください。

②シャワーホースを引出す長さを決めます。シャワーホースを引出した状態で、シャワーホース用ガイドが支持金具に当たる位置におもりをビスで固定します。

*シャワーホース用ガイドの下におもりを取付けてください。

*ホースの溝におもり内側のリブを合わせてください。

ハンドスプレーへ

①シャワーホース用ガイド

ガイドの下におもりを取付ける

②おもり

ビス

支持金具

ワンタッチソケット

表面の溝をそろえる

ホース溝におもり内側のリブを合わせる

ビス

！

必ず実行

●シャワーホース用ガイド、おもりの順序を間違えないように取付けてください。

●おもりが配管と干渉するときは、配管の位置を調節してください。

●ハンドスプレーを最大に引出したとき、支持金具にシャワーホース用ガイドが当たっているか、混合パイプ、シャワーホースの根元に無理な力がかかっているかご確認ください。支持金具にシャワーホース用ガイドが当たっていないと、混合パイプ、シャワーホースに無理な力がかかり漏水を起こす恐れがあります。

7. (引出し水栓の場合)水受容器を取付けます。

水受容器(4345:別売)を設置します。

*ハンドスプレーを何度か出し入れし、水受容器内にシャワーホースがいつでも収納されるかご確認ください。

！

必ず実行

●水滴がシャワーホースを伝わって床に落ちる場合がありますので、水受容器を必ず設置してください。

●水受容器は湯水の止水栓の間(水栓本体の真下)に設置してください。

●シャワーホースが収納されないときは、おもり(ホースストッパー)の位置、給水・給湯ホース、混合パイプの曲げ方向で調節してください。

湯側の止水栓

水受容器(別売)

水側の止水栓

容器の底面にホースが接触しないこと

約1/2

約1/2

施工後の確認

①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認します。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉じ、漏水する箇所を施工し直してください。

②ハンドルを操作して、湯水の混合具合を確認します。低温または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…」 簡単な点検と対処」を参考に調節してください。

株式会社 カワダイ

本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東 京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大 阪 ☎(06)6730-3391 福 岡 ☎(092)611-4611

広 島 ☎(082)278-2821 札 幌 ☎(011)704-1511 仙 台 ☎(022)239-8371

M-A9949F

無断転載・複写を禁ず

0624GF